

袋井市教育委員会 会議録（要旨）

会議名	平成30年5月 袋井市教育委員会 定例会
招集日時	平成30年5月29日（火）午後1時30分
会議時間	午後1時30分から午後3時45分まで（2時間15分）
場所	袋井市役所302会議室
出席者	鈴木典夫 教育長 前嶋康枝 委員 上原富夫 委員 豊田君子 委員 大谷純應 委員 (計：5人)
欠席者	無し
傍聴者	無し
当局出席者	伊藤秀志 教育部長 本多晃治 教育企画課長 川村佳典 おいしい給食課長 乗松里好 すこやか子ども課長 加藤邦夫 育ちの森所長 平野邦孝 学校教育課長 杉山明子 生涯学習課長 山本義孝 歴史文化館長 野村浩二 袋井図書館長 荻原規代 教育企画課教育総務係長 (計：10人) (合計：15人)
会議に付した事件	別紙「平成30年5月 袋井市教育委員会定例会 議事日程」のとおり

平成 30 年 5 月 袋井市教育委員会定例会 日程

日時：平成 30 年 5 月 29 日（火）

午後 1 時 30 分開会

場所：袋井市役所 3 0 2 会議室

会 議 日 程

日程第 1 開 会

日程第 2 会議録署名委員の指名

日程第 3 会議録の承認

日程第 4 教育長報告

日程第 5 教育部月例事業報告

日程第 6 議 事（会議に付すべき事件）

（1）協議事項

協第 38 号 平成 30 年度袋井市一般会計補正予算（第 1 号）について

協第 39 号 袋井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

協第 40 号 （仮称）袋井南認定こども園の整備について

（2）報告事項

報第 39 号 平成 30 年度当初の要保護及び準要保護児童生徒の認定数について

報第 40 号 袋井市立浅羽中学校校舎改築等基本設計プロポーザルの概要（案）について

報第 41 号 寄附品「サッカーボール」等の受納について

報第 42 号 平成 30 年度 学校給食における食物アレルギー対応食実施状況について

報第 43 号 平成 30 年度保育所入所待機児童数について

報第 44 号 寄附金の受納について

報第 45 号 平成 29 年度 育ちの森事業報告について

報第 46 号 指定学区外就学及び区域外就学の許可について

報第 47 号 コミュニティ・スクール推進研修会の開催について

- 報第 48 号 中学生未来会議について
- 報第 49 号 広島平和祈念式典について
- 報第 50 号 「イングリッシュ・デイキャンプ」について
- 報第 51 号 「英検チャレンジ」事業について
- 報第 52 号 平成 30 年度次世代リーダー育成塾実施要項
- 報第 53 号 平成 30 年度 袋井市立図書館の臨時休館及び休館日の変更について
- 報第 54 号 袋井駅南地区まちづくり事業メディカル地区における保育所の整備等について

日程第 7 その他

(1) 連絡事項

- ア 平成 30 年 春の叙勲受章について
- イ 「楽しい体験 英会話」事業について
- ウ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」平成 30 年 6 月号

(2) 次回定例会等の予定について

6 月教育委員会定例会 6 月 27 日（水）午後 1 時 30 分～ 市役所 302 会議室

(3) その他

日程第 8 閉 会

平成 30 年 5 月 袋井市教育委員会定例会 会議録（要旨）

1 開会

●鈴木教育長

ただ今から、平成 30 年 5 月袋井市教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、全員出席です。

議事がスムーズに進行できますよう、ご協力をお願いいたします。

2 会議録署名委員の指名

●鈴木教育長

袋井市教育委員会会議規則第 16 条第 2 項の規定に基づき、前嶋委員 及び 大谷委員 を指名いたします。

3 会議録の承認

●鈴木教育長

平成 30 年 4 月袋井市教育委員会定例会会議録について、承認されています。

4 教育長の報告

●主な報告事項

- ・定例校長会 (5月15日)
- ・教育 I T ソリューション E X P O (5月17日)
- ・袋井南中学校体育大会 (5月25日)
- ・袋井北小学校ほか3小学校運動会 (5月26日)

その他は資料のとおり

5 教育部月例事業報告

●教育企画課

- ・幼小中一貫教育視察対応 (千葉県睦沢町) (5月24日)
- ・広報ふくろい6月号 (袋井市幼幼小中一貫教育について)

●おいしい給食課

- ・平成 30 年度 学校給食食物アレルギー研修会 (教職員対象) (4月27日)
- ・幼稚園給食連絡会 (5月8日)
- ・平成 30 年度 袋井市立学校給食センター運営協議会 (5月24日)

●学校教育課

- ・地域支援会議 (5月1日)
- ・M I M研修会 (5月8日)
- ・思考ツール活用研修会 (6月6日)
- ・Q-U活用研修会 (6月14日)

●すこやか子ども課

- ・幼小中一貫教育周知活動 (4月7日～4月27日)
- ・幼稚園等職員講習会(運動遊び、「考える力」の育成) (5月19日)
- ・子育て支援センター所在保育所長連絡会 (5月21日)
- ・笠原児童館運営協議会 (5月30日)

●生涯学習課

- ・第1回社会教育委員会 (5月23日)
- ・第1回青少年問題協議会 (5月23日)
- ・青少年育成活動研修会 (5月30日)
- ・第1回家庭教育学級リーダー研修会 (6月20日)

●歴史文化館

- ・公開講座「シリーズ 袋井の明治維新」 (5月17日)
- ・ふるさと研究会学習会「江戸時代の村の暮らし」 (5月22日)

●袋井図書館

- ・「この本よんだよどの本よもうか」贈呈式 (4月27日)

[質疑・意見]

なし

6 議事

●鈴木教育長

議案の審議に入る前に、本会議の議案の取り扱いについてお諮りいたします。

協第38号及び協第39号については、袋井市議会の議決を経るべき議案に関するものであるため、袋井市教育委員会 会議規則 第14条の規定により、非公開としたいが、いかがでしょうか。

[質疑・意見]

なし

●鈴木教育長

それでは、協第38号及び協第39号については、非公開といたします。

【協議事項】

- (1) 協第38号 平成30年度袋井市一般会計補正予算(第1号)について(非公開)

(2) 協第 39 号 袋井市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について (非公開)

(3) 協第 40 号 (仮称) 袋井南認定こども園の整備について

●すこやか子ども課長

本件の(仮称)袋井南認定こども園については、袋井南幼稚園、高南幼稚園、袋井南保育所、の3園を統合し、2022年4月の開園に向け整備を進めるものです。

計画地の位置選定について、7項目の評価基準を設定し、別紙1のとおり建設候補地を4箇所選定しました。

また、別紙2の比較表のとおり様々な観点から比較し、土地の周辺環境や経済性等を総合的に検討した結果、候補地3の上田町グラウンドを最適地と選定しました。

主な選定理由は、周辺地域に文教施設が集中し地域の拠点施設が集中的に整備されている区域であること、拠点施設と連携した就学前の教育・保育の実施が可能となる点、アクセスの利便性が高いこと、駐車場の共用が可能であり利便性が高いこと、用地費などの財政的負担を抑制することができることなどです。

なお、課題については、大きく4点を挙げております。

1つ目は、上田町グラウンド利用者(別紙3)の新たな活動場所の確保です。2022年開園に向け2020年度から造成工事に着手するには、来年度(2019年度)までに調整が必要となります。

2つ目は、3園の跡地の利活用については、袋井市市有財産利活用基本方針等と調整を図り提供していきます。

3つ目は、指定管理対象施設からの除外、4つ目は袋井市地域防災計画との整合性(袋井南幼稚園、高南幼稚園、袋井南保育所は避難所指定)です。

課題については、今後、関係各課と調整していき、(案)については6月市議会民生文教委員会へ報告の予定です。

[質疑・意見]

●豊田委員

候補地3は、上田町グラウンドの全部になりますか。

●伊藤部長

14,000㎡のうちの概ね10,000㎡位で全てにはなりません。

●前嶋委員

3園との距離が同じ位であり、高南小学校に隣接しており幼小中の連携ができ、袋井市が進める幼小中一貫教育の推進にとってもよいと思います。

●鈴木教育長

協第40号について承認いたしますがいかがでしょうか。

[質疑・意見]

なし

●鈴木教育長

本案は、原案のとおり承認いたします。

【報告事項】

(1) 報第 39 号 平成 30 年度当初の要保護及び準要保護児童生徒の認定数について

●教育企画課長

本件は、5月1日現在の小中学校の要保護及び準要保護児童生徒の認定数について報告するものです。詳細は資料のとおり。

なお、認定の比率については、平成 29 年度では磐田市が 6.28%、掛川市が 6.22%、袋井市が 5.62%です。

[質疑・意見]

●鈴木教育長

平成 29 年度、磐田市 6.28%、掛川市 6.22%ということは、袋井の方が低いということですか。

●教育企画課長

はい、そうです。今後、追跡調査をしていきたいと思えます。

●鈴木教育長

新聞掲載された磐田市の貧困の調査は、大学と組んでの実施でしょうか。

●学校教育課長

磐田市の取り組みは、大阪大学と実施のもので、全ての学校が対象ではないようです。

●大谷委員

おそらく、持ち家率や経済状況の違いなどは、地域の特性があると考えられます。

●教育企画課長

認定者の 65%が借家に住んでいます。また、外国人の割合は約 2 割です。

●鈴木教育長

毎年、近隣と比較して袋井市が貧困家庭が特に多いというわけではなく、地域特性がありますので、この資料については、取り扱いに注意をしてください。

(2) 報第 40 号 袋井市立浅羽中学校校舎改築等基本設計プロポーザルの概要（案）について

●教育企画課長

本件は、浅羽中学校の校舎改築等について、昨年度基本構想が確定し、今年度、基本設計を実施するにあたり、公共建築物等の設計選定要領により、プロポーザル方式で設計者を選定し基

本設計業務の委託契約を進めていくものです。その他は資料のとおり。

[質疑・意見]

●前嶋委員

施設の条件案に階数は問わないとありますが、階数はどのようにお考えでしょうか。

●教育企画課長

北校舎に付随してとなると敷地の活用方法には限りがありますので、平屋での設計提案は考えにくいかと思えます。

●鈴木教育長

今後、将来的に小中一貫を想定し、南に1棟建築とすると配置についての制約が生じます。

(3) 報第41号 寄附品「サッカーボール」等の受納について

●教育企画課長

浅羽北小学校にサッカーボール等の寄附がありましたので報告します。詳細は資料のとおり。浅羽フットボールクラブからは、昨年度もサッカーボール等を寄附いただきました。

(4) 報第42号 学校給食における食物アレルギー対応食実施状況について

●おいしい給食課長

本件は、本年度5月7日から学校給食において食物アレルギー対応食の提供を開始することとなりましたので、実施状況について報告するものです。

(5) 報第43号 平成30年度保育所入所待機児童数について

●すこやか子ども課長

本年度の4月1日現在の待機児童数は、すでに4月の定例会にて口頭により報告いたしました。が、県の発表(新聞報道)のとおり、本市の待機児童数は昨年度より1人多い28人となりました。

昨年度まで認証保育所であったMOE保育園てんじん園について、認可保育所への移行支援をし60人の定員拡大に努めましたが、毎年の保育需要の高まりにより、申込者数が106人増となったことなどの要因により、28人の待機児童が発生している状況です。

来年度に向けては、駅南認可保育所の新設などにより、市全体の定員をさらに120人拡大できる見込みであり、引き続き子ども・子育て支援事業計画を着実に実施し、保育園の新設や小規模保育の施設新設などにより保育所定員の拡大に努め、待機児童の早期解消を目指していきたいと考えております。

[質疑・意見]

●鈴木教育長

平成31年4月、駅南に保育所が開園後、待機児童は解消される予定です。

●伊藤教育部長

新たな施設ができると需要増が懸念されます。

(6) 報第 44 号 寄附金の受納について

●すこやか子ども課長

本件は、ニチアス株式会社袋井工場から、市内の公立幼稚園等に対して図書等購入費として、30 万円の寄附金をいただいたものです。詳細は資料のとおり。

[質疑・意見]

●前嶋委員

寄附金の使途などの報告はどのようにしていますか。

●すこやか子ども課長

活動状況の写真を添えてお礼状を送付しています。

(7) 報第 45 号 平成 29 年度 育ちの森事業報告

●育ちの森所長

育ちの森の 3 つの施設ごとに平成 29 年度の事業を報告します。

子供支援室「ぬっく」の相談支援事業の状況ですが、0 歳から 18 歳までの子どもと保護者からの相談の延べ人数が 3130 人、実人数では 559 人（うち 213 人が新規）となっています。相談内容の 1/4 が対人・集団適応に関する事で、小学生が半数を占めています。園や学校へ出向いての訪問も年 266 回実施しました。

子ども早期療育支援センター「はぐくみ」では、発達に遅れや特性のある児（主に就学前）を対象に、0 歳から 3 歳を対象とした「親子教室」へは延べ 568 人、3 歳から 5 歳を対象とした「並行半日教室」へは延べ 1949 人、「並行一日教室」へは延べ 378 人の利用がありました。また、「重症心身障害児教室」の実施体制を整えましたが、利用児はいませんでした。相談延べ人数は上昇の傾向にあります。幼稚園・保育所訪問をの実施し、支援の必要な子どもが少しでも早く適切な支援を受けられるように、幼稚園などと連携を深めながらすすめていきたいと考えています。

教育支援センター「ひまわり」では、不登校児童生徒を対象に、子どもの個々の特性に合わせた支援（個別支援、集団支援）を行い、学校と連携して学校復帰を目指しました。外国人児童生徒初期支援教室では、編入してきた外国人児童生徒が、円滑に学校生活への適応が図られるよう、外国人支援員により約 1 か月支援を実施し、31 人の児童生徒が通級しました。送迎方法の見直しにより、今年度からは保護者の責任での送迎とし、利用者は現在 2 名という状況です。「ひまわり」については、参観週間を学期に一回ずつ引き続き実施していきます。

[質疑・意見]

●鈴木教育長

3 番の「ひまわり」の入級児童生徒数と学校への復帰者数の内訳について確認です。

●育ちの森所長

学校への復帰者数の内訳について再度、確認します。

●鈴木教育長

初期支援教室では、親の送迎となってから通級児童生徒数が減となっておりますが、通級でなく小学校での支援はどのようになっていますか。

●育ちの森所長

初期支援の対象となる児童生徒へは、学校での支援として、外国人支援員（通訳）が週に1回は巡回し支援を実施しています。

●鈴木教育長

初期支援教室ではなく、支援員が学校へ出向く形で初期支援を実施している。

●大谷委員

どうあるべきかというのは議論の深いところですが、通級児童生徒数の減は残念です。実際、袋井に在住する外国人は増加しており、本来、自分たちで送迎すべきですが、送迎できないから通わないとなると教育面で心配です。機会は均等であっても言葉の壁があり、何とかならないものかと思えます。外国人の方の家庭がある地域も要保護、準要保護と同じく地域の特性や格差があり、外国人児童生徒の多い地域では、通級できないのであれば、今後、コミュニティセンターと連携をとっていくなどの方法もよいのではと思います。

定住したい方が今、袋井市に住んでいるので心配です。外国人児童生徒の多い学校では、手厚い支援となっていることと思えますがどうでしょうか。

●鈴木教育長

レインボープランとして外国人支援員を袋井北小学校へ2人、高南小へ1人任用しています。

●学校教育課長

袋井西小学校の外国人児童が非常に増えたので、高南小に常駐の支援員が兼務し、他は巡回し支援を実施しています。

●大谷委員

外国人の相談窓口が国際交流協会へ市から委託されていますが、教育に関する相談件数は全相談件数の3割から4割程度であったと思います。相談件数や相談内容について把握されているのがよいのではないかと思います。

●伊藤教育部長

年間200件くらいあったと把握しております。昨年度までの市民協同課の通訳2人が国際交流室での通訳となり、国際交流協会と市の国際交流室とで連携が図られています。

●大谷委員

市の中で国際交流室と教育委員会とで連携を図っていくのもよいですね。

●学校教育課長

外国人児童生徒の指導については、国では、教員免許状所有者に限るとされています。外国語の通訳指導ができて日本語を含めた学校教育での指導には当たらないため、学校の授

業の指導はできないこととなります。したがって、必ず教員免許状所有の教員と支援員と一緒に同席し、指導する方式をとらないと指導として認められないという条件がありますので、これが、なかなか難しい。国では、今後 10 年の中で外国人の人数により指導者数を定数化していくことが進められていきます。（特別な教育課程プログラム作成の児童生徒数により、対応する教員を配置する計画）

●鈴木教育長

大谷委員がおっしゃるように外交人の初期支援の在り方については、見直しが必要であると思います。

●前嶋委員

初期支援室は 10 年くらいになりますか。

昨年度までは、職員が送迎をして手厚い支援で大変であったと思います。

●鈴木教育長

資格のない職員が乗って事故対応ができないことが問題で、送迎はやめることにしました。

(8) 報第 46 号 指定学区外就学及び区域外就学の許可について

●学校教育課長

平成 29 年度下半期における指定学区外と区域外について報告いたします。指定学区外、区域外ともに、そのほとんどが転居の関係です。詳細は資料のとおり。

(9) 報第 47 号 コミュニティ・スクール推進研修会の開催について

●学校教育課長

今年度、8 月 27 日の午後、月見の里学遊館で学校運営協議会委員のための研修会を開催します。地域の方の力と学校教育とのつながりを目指し、教職員の参加や地域に広めるため数多くの方の出席を願います。本年度は、袋井北小学校、浅羽南小学校、南の丘寺子屋の実践発表があり、研修会を進めていきます。日程その他は資料のとおり。

(10) 報第 48 号 中学生未来会議について

●学校教育課長

昨年度までは、2 日間で午前午後の計 4 回の実施でしたが、本年度は、8 月 9 日の 1 日開催で午前 2 校、午後 2 校を実施します。（1 校 3 グループ）

発表については、ICT を使う中で、中学生が思考スキル思考ツールを取り入れたプレゼンにより、市への政策提言ができるよう進めていきたいと思ひます。日程その他は資料のとおり。

●鈴木教育長

日程をコンパクトにしましたが、中学生には、質を高めることを期待しての企画となっています。

(11) 報第 49 号 広島平和祈念式典について

●学校教育課長

本年度も8月5日、6日の2日間で広島平和祈念式典へ参加します。各校4人、合計16人の募集をします。日程その他は資料のとおり。

(12) 報第 50 号 「イングリッシュ・デイキャンプ」について

●学校教育課長

本年度は、小学校3・4年生は1日コース、5・6年生は2日間コース、中学生は2日間の3つのコースを設けています。中学生は、昨年度はエコパでの実践でしたが、本年度は可睡斎を会場として、袋井の魅力について紹介をするというプログラムで進めていきます。詳細は資料のとおり。

●鈴木教育長

3年目ですね。募集要項にいつから実施し、始めたのか記載するといいいですね。

(13) 報第 51 号 「英検チャレンジ」事業について

●学校教育課長

3年目の事業です。初年度は、第3回の2月開催で参加者数が少なかったため、昨年度は第2回の10月開催としました。参加者数を増やすため、本年度も第2回の10月6日開催で600人の参加者を目標に事業を実施していきます。

本件は、2019年ラグビーワールドカップ開催を市民の英語力向上のチャンスととらえ、袋井市へ訪問する外国人を英語でもてなす中学生ボランティアの育成と、平成32年度から実施予定の英語の全国学力調査に向けて英語力を向上させるために取り組むものです。

(14) 報第 52 号 平成 30 年度次世代リーダー育成塾実施要項

●生涯学習課長

本件は、中学生から40歳未満の若年層を対象に青少年活動及び地域活動の指導者を養成するための研修プログラムです。これに基づき指導者、リーダーとしてのマネージメント、コーディネート、コーチングなどを学び、生涯学習課が現在実施している子ども向けの体験事業等で実践実習を行います。この学習と実践によりリーダーとしての人材を育成していきます。

詳細は資料のとおり。

●鈴木教育長

中学校と高校にも案内をお願いします。

(15) 報第 53 号 平成 30 年度 袋井市立図書館の臨時休館及び休館日の変更について

●袋井図書館長

本件は、国の情報セキュリティ強化の方針により、袋井市においても情報系ネットワークを

情報系と基幹系に切り離していることに伴い、袋井市本庁舎内に設置してある「図書館WEBサーバー」を本庁舎から袋井図書館へ移設作業を行う3日間について、図書館業務用端末が使用できないため、臨時休館及び休館日を変更するものです。

(16) 報第54号 袋井駅南地区まちづくり事業メディカル地区における保育所の整備等について

●すこやか子ども課長

本件は、袋井駅南地区まちづくり事業メディカル地区における保育所の整備について、(社)三宝会から平成31年4月の開園に向け、整備の状況が示されたので報告するものです。保育所の名称は「ルンビニあゆみ園」施設及び工事概要等詳細は資料のとおり。

●鈴木教育長

報告事項については以上となります。

7 その他

連絡事項について、各課から配付資料のうち主なものについて説明

- ・ 平成30年 春の叙勲受章について
- ・ 「楽しい体験 英会話」事業について
- ・ 袋井市立図書館だより「ふくぶっく」平成30年6月号

8 閉会

(午後3時45分閉会)